

研究課題名	副腎腫瘍症例における緑内障有病率の研究
研究責任者名	広島大学大学院医系科学研究科眼科学 准教授 廣岡 一行
研究期間	実施許可日 ～ 2025年 3月 31日
対象者	2019年4月から2023年2月の間に、広島大学病院内内分泌・糖尿病内科診療科で副腎腫瘍患者さんのうち入院により検査を受けられ、E2006-0634「副腎腫瘍症例における表現型や内分泌検査との関連についての研究」に参加された患者さん、および金沢大学・香川大学での原発性アルドステロン症患者における緑内障有病率の研究に参加された患者さん。
意義・目的	副腎に腫瘍が発生する病気として、クッシング症候群、原発性アルドステロン症、褐色細胞腫、骨髄脂肪腫、原発性副腎癌、転移性副腎癌などがあります。これらの疾患では、高血圧症、糖尿病、肥満、動脈硬化症との関連だけでなく、眼疾患との関連が示唆されています。そこで、当院においても副腎腫瘍患者様と眼疾患の合併率を調査し、有病率や発症率を明らかにすることで、危険因子の解明を目指したいと考えています。
方法	本研究は、診療録（カルテ）情報を調査して行います。副腎腫瘍の患者さんの診療録（カルテ）から、性別、年齢、身長、体重などのほかに、診療時の検査で得た値などを転記します。眼科の検査として、光干渉断層計や眼底写真、視野検査などを使用して、眼疾患の精査を行います。取得した情報は、氏名・住所・生年月日等の個人情報削り、代わりに新しく研究用の符号をつけ、どなたのものか分からないようにして研究に用います。また、金沢大学・香川大学からも同様に誰のものか分からないように加工された情報を郵送によって受け取り、研究に用います。（個人を特定可能な情報は解析に用いません）
資料・情報の提供機関	金沢大学 東出朋巳 香川大学 新田恵里
試料・情報の管理責任者	広島大学 准教授 廣岡一行
個人情報の保護について	調査内容につきましては、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 研究に資料を提供したくない場合はお申し出ください。お申し出いただいても不利益が生ずることはありません。ただし、すでにこの研究の結果が論文などで公表されていた場合には、提供していただいた情報や、試料に基づくデータを結果から取り除くことができない場合があります。なお公表される結果には、特定の個人を識別できる情報は含まれません。

問合せ・苦情等の窓口

〒734-8551 広島市南区霞 1-2-3

T e l : 082-257-5246

広島大学病院眼科 准教授 廣岡 一行